

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009年横第149号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年3月20日 03時45分ころ	
発生場所	京浜港川崎区第1区池上運河 (概位 北緯35°30.6′ 東経139°43.9′)	
事故等調査の経過	平成21年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 貨物船 第一敬神丸、495トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 133694、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、敬神汽船株式会社</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、四級海技士（航海）</p>	
死傷者等	なし	
損傷	主プロペラ、バウスラスタのプロペラ曲欠損、船底後部外板擦過傷	
事故等の経過	<p>本船は、5人が乗り組み、池上運河において、船首約2.8m、船尾約4.5mの喫水で、平成21年3月20日03時45分ころ、千葉県千葉港に向けて離岸を開始したところ、間もなく、右舷側近くの浅所に乗り揚げた。</p> <p>本船は、機関を前進にかけ、バウスラスターを使用して離礁し、予定の航海を継続した。</p> <p>本船は、同年4月の中間検査の際、上記損傷が発見された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 雨、 風向 南西、 風力 3</p> <p>海象：潮汐 上げ潮中央期</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、池上運河において離岸作業中、池上運河東側の浅所に接近しすぎた可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、夜間、本船が池上運河において離岸作業中、池上運河東側の浅所に接近しすぎたため、同浅所に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	